

政策評価書（要旨） （事後の事業評価）

事業名	コンピュータ・セキュリティ要素技術の研究	担当部局	管理局開発計画課
政策分野	防衛装備の適正な維持・管理（研究開発）	実施時期	平成17年10月～18年3月

事業の内容 防衛庁において必要とされるコンピュータ・システムが有する情報を保全するため、情報の漏洩、改竄、破壊対策等のコンピュータ・セキュリティに関する技術資料を得た。	12	13	14	15	16	17	完了年度
	← 研究試作 →						16年度
			← 試験 →				研究経費
							約13億円

評価の内容	達成状況
事業の目的 防衛庁において必要とされるコンピュータ・システムが有する情報を保全するため、情報の漏洩、改竄、破壊対策等のコンピュータ・セキュリティに関する技術資料を得ることを目的とした。	達成効果 以下の技術項目を達成したことで、防衛用途のコンピュータ・システムに求められるコンピュータ・セキュリティ構成要素技術及びその評価技術が確立された。 ア ファイアウォール識別認証技術 イ マルチレベルフロー制御技術 ウ セキュア通信プロトコル技術 エ JDA-3相当システム構築技術 オ セキュリティ評価、侵入検知技術

達成時期 平成12年度から試作に着手し、平成16年度までに試験を終了し、目標の性能を達成したことを確認した。	教訓等事項
---	-------

今後の対応 本研究の成果を活用し、今後、防衛庁コンピュータ・システム全体のセキュリティ技術の解明を行う予定である。	その他の参考情報
--	----------